

ケニアにおける 月経衛生対処 (MHM) 開発支援と女性の エンパワメント

ケニアでは、65%の女性と女兒が生理用品を購入できず、生理期間中に外出することができません。女性の健康の阻害要因になるだけでなく、社会的・経済的な状況、学業の面でも深刻な影響を及ぼしています。今回、JICAの草の根技術協力事業を展開している日本ハビタット協会の現地カウンターパートを講師に迎え、現地の状況や対策、今後の課題などについてご講演いただきます。

無料・通訳つき

7月7日(金) 15:00-16:30

大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A4-405

対面とオンラインのハイブリッド開催
定員(先着順)：対面30名

はじめに

篠原大作
日本ハビタット協会事務局長

報告者1

Vivian Nyaata ケニア・キシイ大学講師
「生理環境改善プロジェクト」マネージャー

報告者2

Javan Okello 公衆衛生専門家
「スマイル・トイレ・プロジェクト」プログラムマネージャー

通訳

澤崎康
早稲田大学非常勤講師(国際保健医療協力論)

司会

東優子
大阪公立大学

申し込み方法：対面参加、オンライン参加希望者ともに、右記のQRコードよりお申し込みください。
申し込み締切：2023年7月7日(金) 正午
お問い合わせ先：higashi@omu.ac.jp

